

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Basic Spoken English		
英文授業科目名	Basic Spoken English		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択必修科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	奥 浩昭、Neil G. Roy (ニール ジー ロイ)		
居室	東1-805(奥)、非常勤講師(Roy)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
oku@hc.uec.ac.jp	http://www.oku.hc.uec.ac.jp/

【主題および達成目標】
<p>【主題】 意見を平易な表現を用いて英語で書き、発表する。</p> <p>【達成目標】 述べたいと思うことの50%を英語で表現できる。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
<p>マーク・ピーターセン 『心にとどく英語』（岩波新書）</p> <p>松本茂 『速読速聴英単語Core』（増進会出版社）</p>

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

- ・ 6名前後のグループを作り、グループ毎に活動する。
- ・ 英語で話すのに役に立つ基本的な構文や語彙を学びながら、それを活かす形で会話の練習を行う。
- ・ マーク・ピーターセン『心にとどく英語』から、コミュニケーションに役立つ表現を学ぶ。
- ・ (教室外) ALC NetAcademy や「リズム学習」：言語自習室での学習。この学習は非常に重要です。
- ・ 学びの結果として、TOEIC試験で最低450点に達するよう指導する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

【成績評価方法】

- 1) 【授業中の評価：参加の積極性と英語を聞き、話す力】(5割)
- 2) 【課題の提出】(2割)
- 3) 【中間試験】(1割) 【学期末試験】(2割)
 - 1) 『速読速聴英単語Core』から出題
 - 2) 1人3分(学期末は5分)でスピーチ
 - 3) 【学期末のみ】意見を英語で書く・listening, reading力を問う
実力問題

【評価基準】

- ・ 上記達成目標に照らし合わせて行う。
- ・ 最低達成基準
学期末試験時に課される、5分間のスピーチと30分間のライティングで、思っていることの半分は表現できるレベルに達している。

【オフィスアワー：授業相談】

月・火5限：言語自習室(F101)で、主に英語学習の相談を受けます。

【学生へのメッセージ】

【1】キャッチフレーズ

- ・ 使わなければものにならない。
- ・ If not now, when? If not here, where?
(今なくて、いつ? ここでなくて、どこで?)

【2】学びの結果として、TOEIC試験(990点満点)で次の達成を。

- 【1年前期末】500点 【1年後期末】550点
【2年前期末】600点 【2年後期末】650点

電気通信大学 平成20年度シラバス

【3年前期末】700点 【3年後期末】750点

【3】 If not now, when? If not here, where?

(今しなくて、いつする? ここでしなくて、どこでする?)

【その他】

なし